

(様式1)

タイトル	地域を学ぶ 地域に学ぶ 地域と共に学ぶ - 『蓼科学』及び『地域Ⅰ・Ⅱ』 -
名称(学校・地域)	長野県蓼科高等学校
日時・場所等	蓼科学(火曜日5・6時限) 地域Ⅰ・Ⅱ(水・金曜日5・6時限)
ホームページアドレス	tateshina-hs@pref.nagano.lg.jp

蓼科高等学校では、学校設定教科「地域学」において、2学年で「蓼科学」・「地域Ⅰ」、3学年で「地域Ⅱ」という科目を設定し、地域と一体となった教育活動を展開しています。

地域開放講座として公開している「蓼科学」では、地域で活躍されている方やそれぞれの分野の専門家を外部講師として、歴史、自然、文化等について、地域の皆さんと一緒に受講しています。「地域Ⅰ」では、地元公園の清掃活動を地域の方々で行ったり、地域観光の拠点ともなっている女神湖でのカヌー体験を行い、地域の魅力を発見し、地域への貢献意識を育む教育を行っています。「地域Ⅱ」では、長野大学と連携し、今年度は「町を元気にしよう!」をテーマに、そのためのプランを考えました。調べて考えたことについては、立科町長はじめ地域の方をお招きした発表会を行いました。学校全体で探究的な学びに取り組んでいます。

【蓼科学】(2年) 令和元年度テーマ …「歴史の道」「立科にゆかりの人々」「地域学の勧め」等

☆『歴史の道』

「土器にある顔」寺内隆夫(県立歴史館)

「中山道の歴史」小野和英(県立歴史館)

☆『立科にゆかりの人々』「講座名」:講師名(敬称略)

「保科百助・六川長三郎 紙芝居」立科町お話バスケットの皆様

「保科百助 実物から考える」田辺智隆(戸隠地質化石博物館)

「保科百助・石の話を中心に」村田長年(五無齋研究会)

「保科百助の過ごした寛聚院」宮坂幸夫(農楽食楽語楽の家)

☆『長野大学との高大連携』

「立科町探検隊(長野大学連携講座)」

前川道博(長大教授)

☆『地域学のすすめ』

「俳句をつくる」窪田英治(俳句作家)

「歴史と自然の地域学」亀山章

(東京農工大学名誉教授)



【地域Ⅰ】(2年)

☆地域との連携を深める

「地域活動 立科町建設業協会との合同清掃」

「カヌー体験」「地元特産物を使ったものづくり」



【地域Ⅱ】(3年)

☆長野大学との高大連携

「地域デザイン(長野大学連携講座)」

禹在勇 山浦和彦(長大教授)

『立科町を元気にしよう!』

☆自分の将来を考える

「異文化交流から学ぶ」

